

頸椎(1.5T)

コイル→Neck Matrix, 体位→ヘッドファースト

コイルがはまらない場合はflex coilを顎～首にかけて乗せる。
スポンジを入れ、顎に直接かからないようにする。

※Flex coilで撮像する際には「Sequence」より、コイルが選択されていることを確認してから撮像開始する。

SPINE→c-spine(単純)

- ① localizer
- ② localizer 2D myelo
- ③ T2W sag
- ④ STIR sag
- ⑤ T1W sag
- ⑥ T2W tra
- ⑦ T1W tra

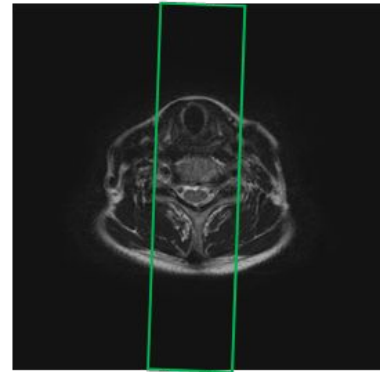
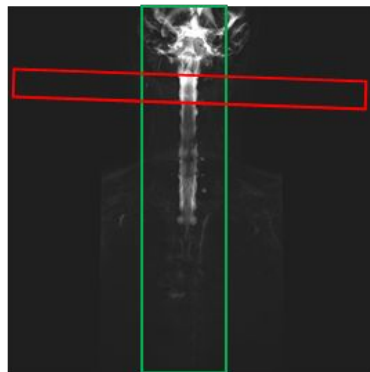
② 脊髄が一直線に見えるように (青)

③④⑤ 小脳～Th1まで (緑)
sat pulseは気管かからないように

⑥⑦ 各椎間板 (赤)
sat pulseは脳脊髄液と椎体前に置く

追加

- ・脊髄梗塞, メタ検, 腫瘍→DWI(sag)
- ・腕神経→STIR SPACE(cor)



頸椎(造影)

ルート: どちらの手でもOK 22G
外来→ガドビスト: 0.1ml/kg 生食30ml
病棟→ガドテリ: 0.2ml/kg 生食30ml

コイル→Neck Matrix
体位→ヘッドファースト

SPINE→Gd C-S(造影)

- ① localizer
- ② localizer 2D myelo
- ③ T2W sag
- ④ STIR sag
- T1W sag
- ⑥ T2W tra
- ⑦ FS-T1W sag
-
- injection-
- ⑧ FS-T1W sag Gd(+)
- ⑨ FS-T1W tra Gd(+)

② 脊髄が一直線に見えるように (青)

③④⑤⑦ 小脳～Th1まで (緑)
sat pulseは気管かからないように

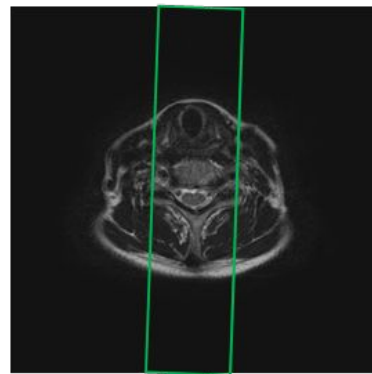
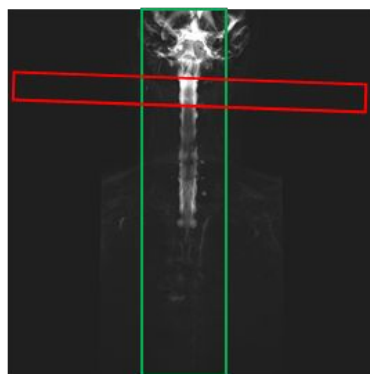
⑥ 病変部

造影

造影剤を入れてから60秒後に⑧を撮
像開始

⑧ ③④⑤と同じ

⑨ ⑥と同じ



胸椎(1.5T)

コイル→Neck Matrix
体位→ヘッドファースト

SPINE→Th-S

- ① localizer
- ② localizer 2D myelo
- ③ Wide localizer
- ④ STIR sag
- ⑤ T1W sag
- ⑥ T2W sag
- ⑦ T2W tra
- ⑧ T1W tra

② 脊髄が一直線に見えるように (青)

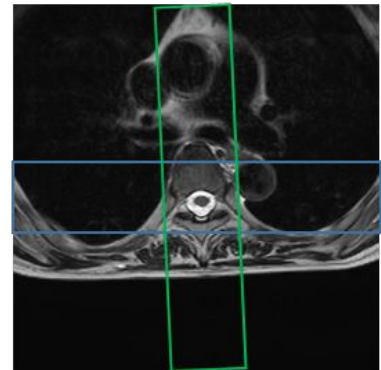
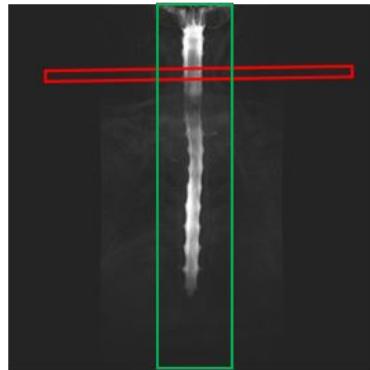
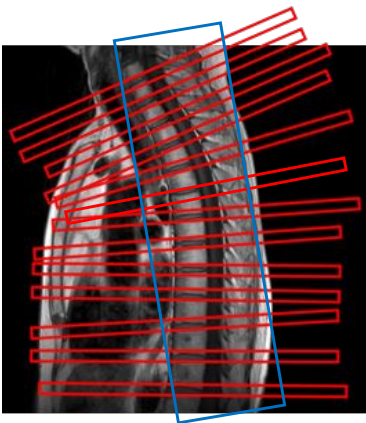
④⑤⑥ C7～L1まで (緑)

Sat pluse は気管と大動脈にかからないように

⑦⑧ 各椎間板 (赤)

追加

・ 脊髄梗塞, メタ検, 腫瘍 → DWI(sag)



胸椎(造影)

ルート: どちらの手でもOK 22G
外来→ガドビスト: 0.1ml/kg 生食30ml
病棟→ガドテリ: 0.2ml/kg 生食30ml

コイル→Neck Matrix
(上位胸椎必要な場合)
体位→ヘッドファースト

SPINE→Th-S Gd

- ① localizer
- ② localizer 2D myelo
- ③ Wide localizer
- ④ STIR sag
- ⑤ T2W sag
- ⑥ T1W sag
- ⑦ T2W tra
- ⑧ FS-T1W sag

造影

-injection-

- ⑨ FS-T1W sag Gd(+)
- ⑩ FS-T1W tra Gd(+)

② 脊髄が一直線に見えるように (青)

④⑤⑥⑧ C7~L1まで (緑)

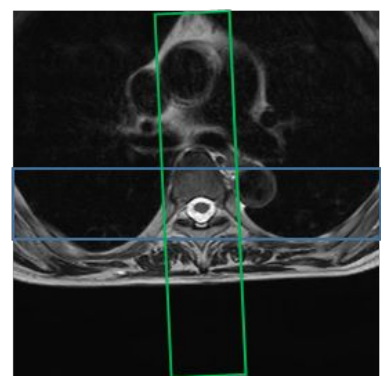
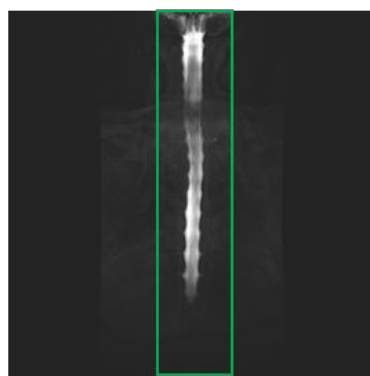
Sat pulse は気管と大動脈にかからないように

⑦ 病変部

造影剤を入れてから60秒後⑨を走らせる

⑨ ④⑤⑥⑧と同じ

⑩ ⑦と同じ



腰椎(1.5T)

体位→ヘッドファースト
腹部バンド

SPINE→L-S

- ① localizer
- ② localizer 2D myelo
- ③ STIR sag
- ④ T1W sag
- ⑤ T2W sag
- ⑥ T2W tra 200
- ⑦ T1W tra 200

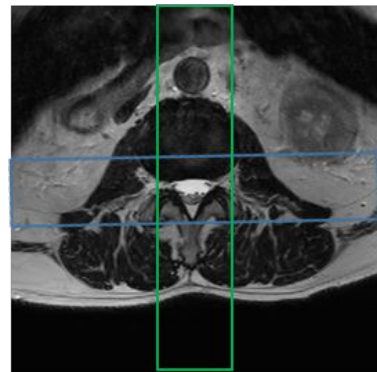
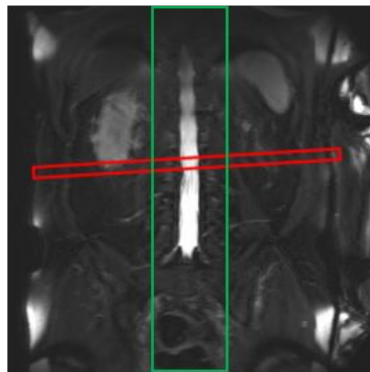
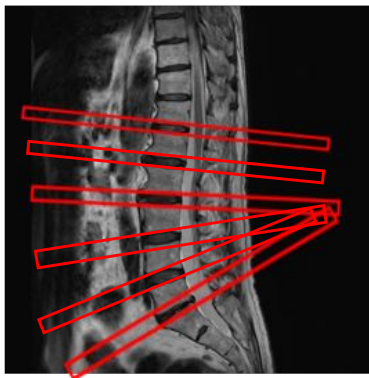
② 脊髄が一直線に見えるように (青)

③④⑤ Th12～Sまで (緑)

Sat pluse は腹壁にかけるが
大動脈にかからないようにする

⑥⑦ 各椎間板 (赤)

神経根→T1 thin corもしくは
medic 3D-Root Nerve
神経根の角度に傾けて撮像
脊髄梗塞,メタ検,腫瘍→DWI sag追加



腰椎(造影)

ルート: どちらの手でもOK 22G
外来→ガドビスト: 0.1ml/kg 生食30ml
病棟→ガドテリ: 0.2ml/kg 生食30ml

体位→ヘッドファースト
腹部バンド

SPINE→Gd L-S

- ① localizer
- ② localizer 2D myelo
- ③ STIR sag
- ④ T2W sag
- ⑤ T1W sag
- ⑥ T2W tra 200
- ⑦ FS-T1W sag
- injection-
- ⑧ FS-T1W sag Gd(+)
- ⑨ FS-T1W tra Gd(+)

② 脊髄が一直線に見えるように(青)

③④⑤⑦ Th12～Sまで(緑)

Sat pluse は腹壁にかけるが
大動脈にかからないようにする

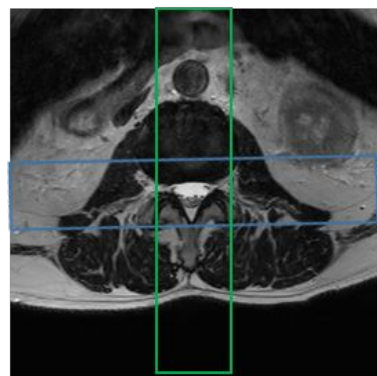
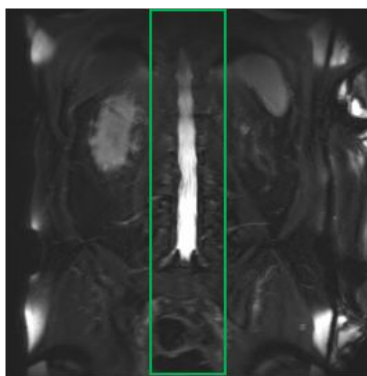
⑥ 病変部

造影

造影剤を入れてから60秒後⑧を走らせる

⑧ ③④⑤⑦と同じ

⑨ ⑥と同じ



頸胸椎 (単純)

SPINE→C-Th-S

- ①localizer sag upper
- ②localizer cor upper
- ③localizer 2D Myelo
- ④STIR sag(c-s)
- ⑤T1W sag(c-s)
- ⑥STIR sag(Th-s)
- ⑦T1W sag(Th-s)
- ⑧T2W tra

- ①②lowerも追加で撮影
- ③脊髄が一直線に見えるように
- ④⑤小脳～
- ⑥⑦～L1まで オーバーラップさせる
- ⑧各椎間板

別オーダー追加で全脊椎をとる場合→全椎間 tra 3sliceで

※番号指定のある場合は椎体ルーチンでOK。
EX)C-Th8指定→頸椎のプロトコール

胸腰椎 (単純)

SPINE→Th-L-S

- ① I localizer 0mm
- ② II localizer H350mm
- ③ localizer 2D Myelo
- ④ STIR sag(Th-s)
- ⑤ T1W sag(Th-s)
- ⑥ STIR sag(L-s)
- ⑦ T1W sag(L-s)
- ⑧ T2W tra 5stack
- ⑨ T2W tra 1stack

- ①腰椎からはいるまで
- ②胸椎入るまで
- ③脊髄が一直線に見えるように腰あわせと胸椎あわせで撮影
- ④⑤C7～
- ⑥⑦～Sまで オーバーラップさせる
- ⑧⑨病変部

別オーダー追加で全脊椎をとる場合→全椎間 tra sliceとる

※番号指定のある場合は椎体ルーチンでOK。
EX)Th8-S指定→腰椎のプロトコール

C-sとTh-s、Th-sとL-sのsagを1枚で頸胸椎、胸腰椎の画像にして転送

- ①ローカルデータベース
 - ②それぞれのsag選択
 - ③アプリケーション
 - ④Composing→MR composer for spine→OK
 - ⑤画像を枠に収める
 - ⑥名前をつけてすべて保存→名前を変更→OK
- ※合成できなかったらやらなくてもよい

myelography (1.5T)

コイル→Neck Matrix
体位→ヘッドファースト
腹部バンド

SPINE→myelography

- ① localizer
- ② localizer 2D myelo Th
- ③ localizer 2D myelo L
- ④ STIR sag(C-Th)
- ⑤ STIR sag(Th-S)
- ⑥ 2D myero 4R(c)
- ⑦ 2D myero 4R(Th)
- ⑧ 2D myero 4R(L)
- ⑨ STIR tra 1stack

②③ 脊髄が一直線に見えるように
(青)

④ C~Th7

⑤ Th7~S

Sat pluse は腹壁にかける

⑥ 脊髄の位置 (赤) で4か所撮像する
(縦・横・右斜位・左斜位)

頸椎の範囲

⑦ 脊髄の位置 (緑) で4か所撮像する
(縦・横・右斜位・左斜位)

胸椎の範囲

⑧ 脊髄の位置 (黄色) で4か所撮像する
(縦・横・右斜位・左斜位)

腰椎の範囲

白黒反転画像も送信する

⑨ 所見部分の範囲で撮像

場所が不明の場合は Dr小松に確認

